

平成28年度第2回碧南市スポーツ推進審議会 会議録

1 日時

平成29年3月23日（木）午後1時半～午後2時半

2 場所

碧南市臨海体育館 会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

杉浦昌彦、井上浩之、生田譲、坪井基紀、生田弘幸、岡本隆史、杉浦亜紀子、竹内友二、榊原満、伴野義雄、加藤友子、古久根久美子、鈴木和代、竹内綾子、高松透、鈴木重幸

(2) 欠席者

石川信夫

(3) 事務局職員

スポーツ課長 深津広明、スポーツ課課長補佐 加藤誠、スポーツ課係長 神谷幸宏、スポーツ課主査 足立淳、主事 長崎良亮、臨職 山田理絵

4 傍聴者 0人

5 議題

(1) 平成28年度スポーツ課事業報告について

(2) 平成29年度スポーツ課事業計画について

6 議事の要旨

(1) 教育長あいさつ（高松透教育長）

(2) 会長あいさつ（杉浦昌彦会長）

(3) 議題

(1) 平成28年度スポーツ課事業報告について

事務局が会議資料に基づき、スポーツ課事業報告について説明した。その後、審議した結果、了承された。

(2) 平成29年度スポーツ課事業計画について

事務局が会議資料に基づき、スポーツ課事業計画について説明した。その後、審議した結果、了承された。

<主な意見・質疑>

1、市内で活動するスポーツ・レクリエーション団体の補助金について

【委員1】市内で活動する団体への補助金額の変動について、前年比や近隣市比較はどうか。

【事務局】前年比での大差はないが、2団体（へきなん総合型スポーツクラブとレクリエーション協会）については、会員増加や様々なスポーツを担っていくため、過去と比べると補助金額を増やしている。

【委員1】スポーツを広げようとするなら、もっと補助金額を増やすということは考えてないか。

【事務局】 体育関係事業費を近隣市と比較すると、碧南市は少ない印象を持っている。ただ、補助の部分については、各団体の自立を促すという側面もあるため、活動内容や市の経済状況も勘案しながら、今後検討を行う必要性はある。

## 2、スポーツ教室の金額について

- 【委員 2】 8月・3月の募集スポーツ教室については市が行っているものか。
- 【事務局】 市で運営するものと総合型スポーツクラブ独自で運営や活動を行っているものとある。
- 【委員 2】 総合型スポーツクラブの会費が数年前と比べて高いのでは。教室に参加するためには、年会費も必要と聞いている。
- 【事務局】 総合型はクラブ運営や全体の運営費等もあり年会費を徴収している。市の教室は、入会金はない。
- 【委員 2】 市の教室はもう少し安くないのか。
- 【事務局】 近隣市との比較や碧南市の財政状況から勘案し、平成26年度に1回あたり200円から300円に上げた経緯がある。現状は減額を行う予定はない。

## 3、ビーチバレーボールについて

- 【委員 3】 現時点でのビーチバレーボールの競技人口及び、今後についてはどういった考えがあるのか。
- 【委員 2】 現時点では1名。ビーチバレーは屋外競技で、体力的にもハード。バレーボールの競技人口が減少傾向であるため、継続的に振興していくためには高校生を巻き込むことが望ましいのではないか。
- 【委員 3】 中小体連にはビーチバレー項目がないため、部活として立ち上げることができないが、高体連にはある。高校なら大会もあるため、碧南市の高校に部活をつくるのはどうか。  
また、碧南市のビーチコートを使用する際に、高校生の無料化についても検討いただきたい。
- 【事務局】 ビーチコートについては、平成30年7月に利用開始を予定している。施設使用料に関しては、平成29年度中に検討を行う。  
日本ビーチバレーボール連盟会長川合俊一氏との意見交換会(3月16日)では、2年後にビーチバレーボールが高校の国体競技になると伺った。部活の新設も含めて、市内の高校には検討・協力をいただければと考えている。
- 【委員 4】 バレーをやる子、ビーチバレーをやる子を分けたほうがいい。それに応じて、指導者も考えていかなければいけない。
- 【委員 5】 愛知県内にビーチバレーボール部はどのくらいあるのか。

【委員3】数自体は少ない。近隣は安城学園高校が取り組んでおり、新舞子で練習を行っていた。

【事務局】安城学園高校の関係者に聞いたところ、指導者の方針でバレーボールの一環としてビーチバレーの練習も取り入れていたとのこと。現在は指導者が変わり、その練習がなくなった。ルールにこだわらず、レクリエーションとして楽しみながら、違う形でもいいと思う。指導者については、トヨタ自動車ビーチバレー部に連携し、協力できるような体制も、必要に応じて考えて行きたい。